

根っ子の会の観察日記

～根木内歴史公園:湿地の観察会(2013/8/5 実施)～

2013/8/27 作成 参加人数: 8名、文責/編集: 相澤*、写真: 相澤・三井.
*この観察日記は参加者からいただいた感想を基に作成しております。

今月のテーマは『根木内かるた』ということで、参加者には平仮名一文字が書かれた紙を渡して読み札を考えてもらいました。

◇読み札:植物

けけけけけ! ケイヌビエ

- ❖ いぬもびっくり ふさふさ ケイヌビエ
- ❖ ケ ケケケケ! ケイヌビエ
存在感あり～

夏になるとたくさん生えてくるのが印象的です。



ミョウガ

- ❖ はっけんした ミョウガの子 かじる
- ❖ へいきだよ 食べれるよ
ねぎうち そだちの みょうがだもん

アリアケスミレ(閉鎖花)

- ❖ へいさかは 婚活女子の保険です

アリアケスミレは夏から秋に閉鎖花という開かない花をつけます。開かない花の中で自分のおしべとめしべで受粉をするので虫が少なく他の花との受粉がうまくいかなかった時の保険の役割があります。ただし、閉鎖花のタネは近親交配が起こっているため、発芽率が低くなる場合が多いです。





ヒメガマ

- ❖ いとをかし 風にたなびく
ヒメガマよ

◇読み札:動物・虫

アカガエル

- ❖ にんじやのように
ヤブに消え去る アカガエル
- ❖ ぬりゅぬりゅしてる アカガエル
なかなか つかまらない
となげく ワタシ

立派に成長したアカガエルに出会いました。



キアゲハ

- ❖ キアゲハが みだれて おどる
セリバタケ

キアゲハは多かったが、思ったよりセリが少なかった。ということで、読み札は少し創作が入っています。

◇その他のお気に入り、感想

ヒメギス

名前にふさわしく美しかった。
(玉虫色の背中)

毎年秋口に全身真っ黒のヒメギスを見た覚えがありますが、こんな鮮やかな緑色のものは見た覚えがありませんでした。季節によって色が変わったりするのでしょうか？



ベッコウハゴロモ



目のシマシマ模様がナゾ！！

セリ



セリの白花は清楚な印象

ミズキ



ミズキは遠方から見ると果実よりも
花柄の赤色が目立った

観察風景



何を観察しているのでしょうか？

「と」

「と」から始まるキーワードとして、「とうもろこし」と「とんぼ」と「灯籠流し」の3つを選んでみた。

これらはいずれも大暑から立秋にかかるとこの季節に連想されるものであり、偶々、食べ物、生き物、人のくらしのジャンルから選ばれる結果となった。三題噺ではないが、ここに共通しているのは、“ふるさと”である。



胸の模様からすると、ナツアカネ？

ふるさとと言えば、四国琴平のふるさとを離れて半世紀余り、今では墓参りの機会が減ってきたので、言わば、“心”のふるさとに近いかもしれない。

最近では、地元千葉で自然観察活動を通して自然とのふれあいを取り戻し、里山保全やまちづくり活動を通して人のくらしの一端にふれたりして、「新しいふるさとづくり」を試みている。



シオカラトンボの交尾

今年も8月9日～10日には、松戸宿坂川献灯まつりが行われる。今では、孫たちと毎年参加して灯籠流しをしている。

私たち大人は、子どもや孫たちの次世代に対して、豊かな自然とのふれあいを通じた感動体験の機会を提供したり、伝承文化や人のくらしを引き継いでいくことによって、次世代のための「ふるさとづくり」の責任があると痛感している。



ヒヨドリジョウゴ

9月の湿地の観察会は**9月18日（水）9:30～**行います（小雨決行）。いつもと違い**水曜日**なので注意して下さい。公園駐車場に集合で、昼まで観察を行い公園内でお弁当を食べます。『根木内かるた』は現場の反応はイマイチだったので、持ち込み企画も歓迎です!!

お問い合わせ（千葉大・相澤）

E-mail : akihitoaizawa@gmail.com